

化学療法登録票

令和6年1月31日

診療科: 泌尿器科

申請者: 熊谷 伸

㊞

実施部署	外来 入院
化学療法名	PE療法(シスプラチン+エトポシド)
1クール日数	21日
適応病名	前立腺小細胞癌
所要時間	15時間
適応分類	初発 進行・再発 術後補助 術前補助 その他

番号	抗悪性腫瘍薬名	1日投与量	投与方法	投与日
1	シスプラチン注(CDDP)	80mg/m ²	2時間以上で点滴静注	day1
2	ペブシド注100mg(VP-16)	100mg/m ²	1時間・3日間持続点滴静注	day1~3
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> ・3週間1コース ・CDDPによる腎機能障害予防として治療前後に1~2Lの輸液と1日1.5~2Lの水分摂取。また、1日3L以上の尿量確保。 ・CDDPは高度催吐性リスクとして分類されるため、長時間型5-HT₃拮抗型制吐剤(パロノセトロン注)とステロイドとアプレピタント(プロイメンド注)の併用を推奨。 ・ペブシドは、1時間、3日持続点滴静注、フィルター使用不可、軽度催吐性リスク ・パロノセトロン注の消失半減期は約40時間であり、短期間に反復投与を行うと過度に血中濃度上昇する恐れがある(1週間未満の間隔で本剤を癌患者へ反復投与した経験はないため、短期間での反復投与は避ける)。 			
ガイドライン文献名	NCCN Guidelines Version 4.2019 前立腺癌			
その他				

受付番号 : 77

審査日 : _____

登録日 : _____

改定日 : _____

登録削除日 : _____